

○国土交通省告示第千二百五十三号

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（平成二十七年法律第五十三号）第七条の規定を実施するため、建築物のエネルギー消費性能の表示に関する指針（平成二十八年国土交通省告示第四百八十九号）の一部を次のように改正する。

令和四年十二月七日

国土交通大臣 齊藤 鉄夫

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 出 後	改 出 前
<p>1. 遵守事項</p> <p>販売・賃貸事業者は、その販売又は賃貸を行う建築物について、エネルギー消費性能を表示する場合には、(1)の表示事項について、(2)の表示方法により、(3)に留意して、表示するよう努めるものとする。ただし、法第41条第3項の規定に基づき表示を付する場合にあっては、本指針で定めるところにより表示をしたものとする。</p> <p>(1) 表示事項</p> <p>表示を行う事項は次のとおりとする。ただし、⑤から⑦までの設計一次エネルギー消費量及び基準一次エネルギー消費量は、非住宅建築物（建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（平成28年経済産業省・国土交通省令第1号。以下「基準省令」という。）第1条第1項第1号に規定する非住宅建築物をいう。以下同じ。）にあっては同号イの設計一次エネルギー消費量及び基準一次エネルギー消費量の算出方法、同号ロの設計一次エネルギー消費量及び基準一次エネルギー消費量の算出方法又は同号ただし書の国土交通大臣がエネルギー消費性能を適切に評価できる方法と認める方法により算出された数値から、同令第2条第1項及び第3条第1項のその他一次エネルギー消費量を減じた数値とし、住宅（同令第1条第1項第2号に規定する住宅をいう。以下同じ。）にあっては同号ロ(1)及び(2)の設計一次エネルギー消費量及び基準一次エネルギー消費量の算出方法又は同号ただし書の国土交通大臣がエネルギー消費性能を適切に評価できる方法と認める方法により算出された数値から、同令第4条第1項及び第5条第1項のその他一次エネルギー消費量を減じた数値とし、複合建築物（同令第1条第1項第1号に規定する複合建築物をいう。以下同じ。）にあっては同項第3号ロ(1)の設計一次エネルギー消費量及び基準一次エネルギー消費量の算出方法により算出された数値から、同令第2条第1項、第3条第1項</p>	<p>1. 遵守事項</p> <p>販売・賃貸事業者は、その販売又は賃貸を行う建築物について、エネルギー消費性能を表示する場合には、(1)の表示事項について、(2)の表示方法により、(3)に留意して、表示するよう努めるものとする。ただし、法第41条第3項の規定に基づき表示を付する場合にあっては、本指針で定めるところにより表示をしたものとする。</p> <p>(1) 表示事項</p> <p>表示を行う事項は次のとおりとする。ただし、⑤から⑦までの設計一次エネルギー消費量及び基準一次エネルギー消費量は、非住宅建築物（建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（平成28年経済産業省・国土交通省令第1号。以下「基準省令」という。）第1条第1項第1号に規定する非住宅建築物をいう。以下同じ。）にあっては同号イの設計一次エネルギー消費量及び基準一次エネルギー消費量の算出方法、同号ロの設計一次エネルギー消費量及び基準一次エネルギー消費量の算出方法又は同号ただし書の国土交通大臣がエネルギー消費性能を適切に評価できる方法と認める方法により算出された数値から、同令第2条第1項及び第3条第1項のその他一次エネルギー消費量を減じた数値とし、住宅（同令第1条第1項第2号に規定する住宅をいう。以下同じ。）にあっては同号ロ(1)及び(2)の設計一次エネルギー消費量及び基準一次エネルギー消費量の算出方法又は同号ただし書の国土交通大臣がエネルギー消費性能を適切に評価できる方法と認める方法により算出された数値から、同令第4条第1項及び第5条第1項のその他一次エネルギー消費量を減じた数値とし、複合建築物（同令第1条第1項第1号に規定する複合建築物をいう。以下同じ。）にあっては同項第3号ロ(1)の設計一次エネルギー消費量及び基準一次エネルギー消費量の算出方法により算出された数値から、同令第2条第1項、第3条第1項</p>

、第4条第1項及び第5条第1項のその他一次エネルギー消費量を減じた数値とする。

①～⑤ (略)

⑥ 基準一次エネルギー消費量、誘導基準一次エネルギー消費量（非住宅建築物にあっては基準省令第10条第1号ロの誘導基準一次エネルギー消費量の算出方法により、住宅にあっては同条第2号ロ(1)の誘導基準一次エネルギー消費量の算出方法により、複合建築物にあっては同条第3号ロ(2)の誘導基準一次エネルギー消費量の算出方法によりそれぞれ算出された数値から、基準省令第12条及び第14条第1項のその他一次エネルギー消費量を減じた数値をいう。）及び設計一次エネルギー消費量の関係を明らかにした図

⑦～⑩ (略)

(2) (略)

(3) その他の事項

外皮性能を表す数値を表示する場合にあっては、非住宅建築物にあっては年間熱負荷係数（基準省令第10条第1号イの屋内周囲空間の年間熱負荷を屋内周囲空間の床面積の合計で除した数値をいう。以下同じ。）を、用途及び同令第1条第1項第2号イ(1)の地域の区分（以下「地域の区分」という。）に応じて基準省令別表に掲げる数値で除した数値（非住宅建築物を二以上の用途に供する場合にあっては、同令第10条第1号イの各用途の屋内周囲空間の年間熱負荷の合計を各用途の屋内周囲空間の床面積の合計で除した数値を、用途及び地域の区分に応じた同令別表に掲げる数値を各用途の屋内周囲空間の床面積により加重平均した数値で除した数値とする。）又は国土交通大臣がエネルギー消費性能を適切に評価できる方法と認める方法により算出された数値を、住宅にあっては同令第1条第1項第2号イの外皮平均熱貫流率及び冷房期の平均日射熱取得率又は国土交通大臣がエネルギー消費性能を適切に評価できる方法と認める方法により算出された数値を、複合建築物の非住宅部分にあつ

、第4条第1項及び第5条第1項のその他一次エネルギー消費量を減じた数値とする。

①～⑤ (略)

⑥ 基準一次エネルギー消費量、誘導基準一次エネルギー消費量（非住宅建築物にあっては基準省令第10条第1号ロの誘導基準一次エネルギー消費量の算出方法により、住宅にあっては同条第2号ロの誘導基準一次エネルギー消費量の算出方法により、複合建築物にあっては同条第3号ロ(2)の誘導基準一次エネルギー消費量の算出方法によりそれぞれ算出された数値から、基準省令第11条及び第12条第1項のその他一次エネルギー消費量を減じた数値をいう。）及び設計一次エネルギー消費量の関係を明らかにした図

⑦～⑩ (略)

(2) (略)

(3) その他の事項

外皮性能を表す数値を表示する場合にあっては、非住宅建築物にあっては年間熱負荷係数（基準省令第10条第1号イの屋内周囲空間の年間熱負荷を屋内周囲空間の床面積の合計で除した数値をいう。以下同じ。）を、用途及び同令第1条第1項第2号イ(1)(i)及び(ii)の地域の区分（以下「地域の区分」という。）に応じて基準省令別表に掲げる数値で除した数値（非住宅建築物を二以上の用途に供する場合にあっては、同令第10条第1号イの各用途の屋内周囲空間の年間熱負荷の合計を各用途の屋内周囲空間の床面積の合計で除した数値を、用途及び地域の区分に応じた同令別表に掲げる数値を各用途の屋内周囲空間の床面積により加重平均した数値で除した数値とする。）又は国土交通大臣がエネルギー消費性能を適切に評価できる方法と認める方法により算出された数値を、住宅にあっては同令第1条第1項第2号イ(1)(i)及び(2)(i)の外皮平均熱貫流率若しくは冷房期の平均日射熱取得率、同号イ(1)(ii)及び(2)(ii)の住棟単位外皮平均熱貫流率若しくは住棟単位冷房期平均日射熱取得

ては年間熱負荷係数を用途及び地域の区分に応じて同令別表に掲げる数値で除した数値（複合建築物の非住宅部分を二以上の用途に供する場合にあっては、同令第10条第1号イの各用途の屋内周囲空間の年間熱負荷の合計を各用途の屋内周囲空間の床面積の合計で除した数値を、用途及び地域の区分に応じた同令別表に掲げる数値を各用途の屋内周囲空間の床面積により加重平均した数値で除した数値とする。）を、複合建築物の住宅部分にあっては同令第1条第1項第2号イの外皮平均熱貫流率及び冷房期の平均日射熱取得率を、それぞれ表示すること。

2. (略)

率又は国土交通大臣がエネルギー消費性能を適切に評価できる方法と認める方法により算出された数値を、複合建築物の非住宅部分にあっては年間熱負荷係数を用途及び地域の区分に応じて同令別表に掲げる数値で除した数値（複合建築物の非住宅部分を二以上の用途に供する場合にあっては、同令第10条第1号イの各用途の屋内周囲空間の年間熱負荷の合計を各用途の屋内周囲空間の床面積の合計で除した数値を、用途及び地域の区分に応じた同令別表に掲げる数値を各用途の屋内周囲空間の床面積により加重平均した数値で除した数値とする。）を、複合建築物の住宅部分にあっては同令第1条第1項第2号イ(1)(i)及び(2)(i)の外皮平均熱貫流率及び冷房期の平均日射熱取得率又は同号イ(1)(ii)及び(2)(ii)の住棟単位外皮平均熱貫流率若しくは住棟単位冷房期平均日射熱取得率を、それぞれ表示すること。

2. (略)

附 則

この告示は、公布の日から施行する。